



▼早春に出会う鳥たち

夏季に高山帯で過ごした鳥たちは、秋になると、高山帯から低山帯に姿を現わし、初夏には高山帯に戻ります。主な鳥は、ウソやルビタキ、キクイタダキで、梅林や桜公園などに飛来します。好きな花芽をついばんでしまうことから、この鳥を嫌う人もいます。

▼生態的な特徴

ウソの大きさは、スズメよりやや大きく、頭上、腮（あご）、翼、尾は青い光沢のある黒です。雄は喉と頬が赤いのが特徴であり、雌は後頸と背が灰色で、他は全身灰褐色です。幼鳥は、雌に似ていますが頭上が黒くなく、体下面は灰白色で下尾筒は白のが特徴で

里山に育む生きものたち

50 ウソ (スズメ目 アトリ科)

学名 Pyrrhula pyrrhula

文・写真／山口 萬壽美

す。この鳥の人気と魅力は、色や形が上品な京菓子のような趣があり、姿が美しいことから、かつては籠の中でつがいを飼っている方もいました。

・鳴き声

さえずりは「ヒーヒー」、「ヒョホッホ」。地鳴きは口笛のような声で「ヒーヒー」と鳴きます。この鳥との出会いを楽しむには、鳴き声が一番頼りとなります。

▼分布

ヨーロッパからシベリアを経て、ロシア極東のカムチャツカ、千島列島、サハリン、ウスリーなどで繁殖します。

日本でも、本州中部以北の針葉樹で繁殖するといわれています。この鳥は、世界に10種以上の亜種がいて、日本でも3種が確認されています。関東地方では、晩秋から、早春にかけて平地の山地のウメやサクラなどが植えてある公園などにも飛来します。

・この鳥との出会い

出会いのチャンスは、冬季に低山帯のマツやスギ、ヤマザクラ等の混交林を好んで生息が見られます。

▼観察メモ

秋から春にかけて、数羽から数十羽の群れで行動することが多く、サクラの多い公園などに飛来し、花芽をついばんでしまうので、嫌われていることもあります。

昨年12月初旬、茨城町自然観察クラブ員が、かすみがうら市の雪入りの郷で、バードウォッチングをされた際に同行し、この森でウソの群れに出会いました。また、今春3月には茨城町小幡の北山公園で、8羽のウソがヒーヒー鳴きながら、サクラの花芽をついばんでいた光景が見られました。

編集・発行 / 茨城町 町長公室 秘書広聴課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

茨城町の人口と世帯数

※カッコ内は前月比です。
(住民基本台帳 平成28年4月末現在)

- ◆総人口 33,589人 (+204)
男 16,818人 (+170)、女 16,771人 (+34)
- ◆世帯数 12,911世帯

茨城町民憲章

- 1 ふるさとを自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。